



## 略歴

昭和49年生まれ。大分県出身。42歳。横浜市金沢区在住。妻と2女の4人家族。平成9年、創価大学法学部卒業。平成15年、米国・ワイオミング大学大学院 公共政策学 修士課程修了。大手物流会社を経て、平成27年4月、横浜市議員に初当選(金沢区)。現在、公明党神奈川県本部企業団体局次長、学生局次長、金沢支部支部長。

## 視察活動報告

議会閉会中も、市政向上への研究のため、各地の事業等の視察を行っています。

### ● 常任委員会で佐賀、福岡、広島へ (10月25日~27日)



▲佐賀県庁にて



▲広島県議会にて

市民・文化観光・消防委員会の視察初日は佐賀県庁にて「佐賀県の広報戦略」を視察。佐賀県は有田焼や吉野ヶ里遺跡など、魅力的な名産品や観光資源をたくさん抱えていますが、認知度の低さが課題。そこでPR映像の作成、民間企業とのコラボによる商品・イベントを展開し、集客や広報において大きな成果を出しています。地域の魅力の再発見とPRは、横浜でも大切な課題です。

2日目午前中は福岡市役所で、福岡地域戦略推進協議会の事業を視察。福岡の将来像を描き、国際競争力を強化するための成長戦略の策定から実施までを一貫して行うプラットフォーム。横浜にも共通する課題が多く、大

変に参考になりました。

午後は広島市へ。2年前の8月20日の豪雨による土砂災害で、77名もの犠牲者を出した現場を訪問。先立って、安佐南区消防署にて、当時の豪雨や救助活動の詳細を伺いました。

最終日は広島県議会にて「せとうちDMO」の事業を視察。瀬戸内海に面する7県と観光・交通事業者らによる機構。広域連携を強味に、観光誘客、特産品の開発などで、地域全体の活性化に取り組んでいます。近年注目される「瀬戸内レモン」シリーズの商品も、機構が仕掛けの一翼を担ったもので、着実な成果を生んでいます。知恵を絞った真剣な取り組み、横浜も負けてはいられません。

## 横浜市会 平成28年 第4回定例会を開催中!



11月30日(火)~12月20日(火)まで



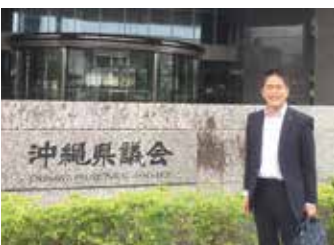
▲広島市・土砂災害現場で



▲福岡市役所にて

### ● 特別委員会で沖縄へ (11月1日~2日)

孤立を防ぐ地域づくり特別委員会の視察で沖縄へ。県庁にて「観光バリアフリー」事業について聴取、質疑。世界水準の観光リゾート地を目指す沖縄は、障害・高齢者はじめ誰にでも優しい観光地づくりに力を入れています。翌日は「社会福祉法人わかたけ」で障害者の就業支援の取り組みを視察。障害者の出来ないことに目を向けるのではなく、出来ること、才能をしっかりと伸ばす、充実した取り組みに感銘。皆さまのいきいきした姿が印象的でした。



▲沖縄県庁にて



▲「社会福祉法人わかたけ」にて

### ● 公明党横浜市議団で浜松、静岡へ (11月10日~11日)



▲静岡県地震防災センターにて

浜松市役所で同市の防災・減災の取組を視察。東海地震による甚大な被害が予測される同地域は、早くも昭和53年には第一次の被害想定を策定。住宅の

耐震化や津波からの避難体制など減災対策において、切迫感持った取組が進められております。

翌日は静岡市内の静岡県地震防災センターを視察。東海地震の震源想定域は静岡県全域、駿河トラフの海溝型地震です。直下型の大きな揺れから5分と置かず沿岸部に津波が到達します。揺れが収まる前に津波が来るところもあるとの事。「揺れたらすぐ逃げる!」センターでは、そのための啓発に力を注いでいます。

● 理研、横浜市大鶴見キャンパスへ (11月14日)



公明横浜市議団と三浦のぶひろ参院議員で、横浜市大の鶴見キャンパス、及び理化学研究所を視察。関係機関や企業などと連携し、ライフサイエンス分野でのイノベーションを生み出す拠点。最先端の設備・機材等による画期的な研究成果などを伺いました。

## 秋の火災予防週間

私も金沢消防団第一分団の一員として、火災予防の広報活動などに出動しています。空気の乾燥する季節。お出かけ・お休み前の火の元の確認をしっかりと!放火による火災を防ぐため、家の周りの整理整頓もお願いします。



## 市民相談会を開催



10月29日、町屋地域の個人宅で市民相談会を開催させて頂きました。さまざまな地域のお困り事など、ご相談頂きました。解決まで時間のかかる課題もありますが、全力で取り組んで参ります!

## 視察余録

### 戦禍の地 「広島」「沖縄」で 平和を祈念



▲広島・原爆ドーム



▲沖縄・ひめゆりの塔にて

早朝、広島での視察宿泊先から、原爆ドーム、平和記念公園へ。広島に来たからには必ず訪問したいと思っていました。原爆ドームは世界遺産にも登録されていますが、大惨劇を必ず後世永遠の教訓にしていかなければならないと、厳粛な思いで決意を新たにしました。

沖縄でも視察の合間に県南の戦跡へ。ひめゆりの塔は、地上戦の際に負傷者の治療所として使用された自然濠の上に設置されています。百聞は一見に如かず…記念碑や展示を息詰まる思いで拝見しました。平和祈念公園は風光明媚な場所に美しく整備されており、素晴らしい所でした。沖縄戦の悲惨さと余りにも対照的な静寂で平和な公園に、先人達の深い慰霊の思い、不戦への誓いを強く感じました。



▲沖縄・平和祈念公園

皆さまの声を お聞かせ下さい

FAX: 045-345-4345

たけのうち猛  
オフィシャルサイト  
takenouchi-takeshi.com



メルマガ登録は  
こちらから!



空メールを  
送信してください

事務所：富岡西3-38-1-101 E-mail: info@takenouchi-takeshi.com